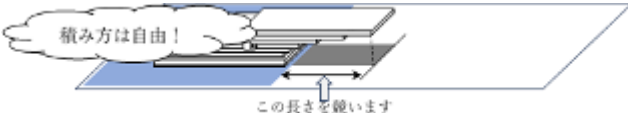


令和5年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

| | |
|-----|--|
| 名 称 | 第11回 新潟県 SSH 生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA |
| 期 日 | 令和5年7月28日（金） |
| 会 場 | アオーレ長岡 |
| 対 象 | 県内外のSSH校，中学校生徒 |
| 参加者 | <p>【参加生徒】新潟南高校，新発田高校，長岡高校，柏崎高校，高田高校（県内SSH事業実施5校），富山県立富山中部高校（SSH事業実施校），新潟大学附属長岡中学校，長岡市立東中学校，長岡市立江陽中学校，南魚沼市立八海中学校，柏崎市立北条中学校。以上，11校746名。</p> <p>【来賓】本校SSH運営指導委員5名、県教育委員会より教育長、県高等学校教育課3名、県立教育センター所長にご臨席いただきました。</p> <p>【その他参観者】参加校教員26名、参加校以外教員4名、一般・保護者による参観15名</p> |
| 目 的 | 県内外のSSH指定校や高等学校，さらに，近隣の中学校の生徒が一堂に会して，課題研究の発表や質疑応答による「研究発表交流」，及び参加生徒が協力して実技課題に取り組む「生徒交流会」を行い，SSH校の課題研究の改善につなげるとともに，参加各校生徒の相互交流により，協働的な課題解決力を育成する。また，会の運営や進行を長岡高校の生徒が行うことにより，本校生徒の主体性および協働性を育成する。 |
| 内 容 | <p>■研究発表交流</p> <p>「口頭発表」・・・6校6件 新潟南高校（英語），新発田高校，柏崎高校（英語），高田高校（英語），長岡高校（英語），富山中部高校の各代表グループによるステージ発表を行う。</p> <p>「ポスターセッション」・・・6校108枚 参加した各校の研究グループが，ポスターで課題研究の成果を発表する。今年度は高田高校理数科、長岡高校理数科のメディカルコースの生徒や長岡高校海外自然科学研修班もポスター発表を行った。ポスター発表校とポスター数は新潟南高校12枚，新発田高校26枚，柏崎高校6枚，高田高校23枚，長岡高校40枚，富山中部高校1枚。全体で英語発表ポスターは9枚。</p> <p>■生徒交流会 参加生徒全員を他校生徒と混合した5～6人のグループに分け，当日提示する実技課題に取り組みさせる。与えられた条件下で，初めて出会うメンバーとの話し合い・意見交換・試行錯誤などの協働作業により，よりよい解を探るといった協働的な課題解決を経験させる。また，課題解決力やコミュニケーション能力の伸長も図る。 今年度のテーマは「伸びろ！せり出す板」として，120mm×36mmのスチロール板25枚をずらしながら積み、水平方向に空中にせり出した距離を競った。最高記録は29.50cmであった。</p>  |



□頭発表 1



□頭発表 2



ポスターセッション



生徒交流会

参加者の
主な
感想

<□頭発表>

・どのグループも具体的なゴールをもち、それにあった仮説をもとに実験を行っていてわかりやすかったので、論理的な考えで研究を進めることが大切だと思いました。

<ポスターセッション>

・先輩や他校の研究を聞いていい刺激になった。これからも自分の研究を頑張ろうと思った。また、たくさんの人から発表への意見をもらったので、もらった意見を踏まえて改善しようと思う。

<生徒交流会>

・他校の人とうまく関われるか不安だったけれどうまく関わることができてよかった。自分の知識が広がるよい経験ができました。

<参加教員・一般参観者・保護者の感想より>

・初めて生徒交流会を見ましたが、他校の生徒とコミュニケーションをとって課題に取り組んでいる様子でよかったと思います。